

# みなみさんりく 議会だより



No. 59

令和2年11月1日発行

## 特集

令和元年度決算審査  
審議資料に誤り多散

P2



《表紙》完成し、渡れるようになった中橋。9月18日には、志津川小学校の6年生30名が、床板の取付作業に参加した。

コロナ対策さらに30事業 —— 〈8月臨時会〉P7  
震災復旧、台風復旧急ピッチで —— 〈議案審議〉P8  
一般会計11億円の大型補正 —— 〈補正予算〉P9  
ここが聞きたい8人登壇 —— 〈一般質問〉P10  
8月臨時議会・9月定例議会 —— 〈議案一覧〉P18  
議員報酬、協議を継続 —— 〈特別委員会〉P20  
議員提出議案 —— 〈意見書〉P21  
まちづくりへの提言 —— 〈委員会報告〉P22

# 審議資料に誤り多数

# 改善を求め 付帯決議

令和2年9月定例会は、2日から17日まで開催されました。8人が一般質問を行い、町政全般について論戦を展開しました。  
令和元年度決算審査特別委員会を設置し、一般会計・特別会計について予算執行のあり方、効果について慎重な審査を行いました。その結果、一般会計・特別会計ともに原案どおり認定されました。

## 町長、二度にわたり陳謝

決算審査特別委員会の中で、歳入歳出決算書と附表とで記載内容の違いを正され、当局はミスを確認、謝罪した。しかし、その後も誤りが続出し、町長が二度も陳謝する事態になった。

過去にも住宅使用料などの徴収ミスがあり、議会では「住宅使用料等調査特別委員会」を設置し、調査を行った。当局も事務改善など再発防止策を策定し委員会に報告している。このような中で、

再び数字や表題の誤り、誤字などが散見された現状を踏まえ、職員が緊張感をもって職責を遂行することを求め、全会一致で意見書提出を決議した。

## 経過

【質疑の中で数値のミス指摘】

- 再び指摘
- すべてを再チェック
- 15カ所のミスを訂正  
〈町長謝罪〉
- さらにミスが発覚  
〈町長謝罪〉
- 委員会報告書に意見を付すことに決定

## 意見

令和2年第7回南三陸町議会定例会に提出され、当委員会に付託された事件（「認定第1号 令和元年度南三陸町一般会計歳入歳出決算の認定について」から「認定第10号 令和元年度南三陸町訪問看護ステーション事業会計決算の認定について」まで）の審査に際し、審議資料の内容に多くの訂正すべき箇所が発見された。

審議資料の誤りは、行政効果の客観的判断と、今後の改善や反省事項の把握と活用を意義とする決算の認定に関する審議に、少なからぬ影響を及ぼした。

今後、議会に提出する議案及び資料等については、慎重の上にも慎重を重ね、所管課等が責任を持つことは当然のこと、組織として一体的な連携を図り、不備のないものを調製するよう望むものである。

町当局においては、多くの箇所にて誤字等が発見されたことに対し、危機感を持つことは当然として、当該事案に対する発生原因と今後の再発防止策について調査・検討し、その結果を議会に対し報告するよう、併せて求める。

一般会計	歳入	入ってきたお金(町税、地方交付税など)	308億 243万 5,250円
	歳出	出ていったお金(人件費、事業費など)	277億 2,512万 2,665円
	繰越額	次年度に繰り越した事業のお金	15億 3,812万 7,199円
	実質収支額	歳入-(歳出+繰越額)	15億 3,918万 5,386円
	財政調整基金繰入金	いざという時使えるお金(貯金)	8億円

特別会計	国民健康保険	歳入	20億 427万 3,207円
		歳出	18億 8,592万 1,604円
	後期高齢者医療	歳入	1億 4,166万 888円
		歳出	1億 3,669万 9,810円
	介護保険	歳入	16億 2,310万 8,474円
		歳出	15億 2,941万 9,676円
	市場事業	歳入	3,345万 6,960円
		歳出	3,293万 9,353円
	漁業集落排水	歳入	2,077万 6,948円
		歳出	1,495万 4,966円
	公共下水道	歳入	2億 1,315万 8,160円
		歳出	1億 7,909万 8,461円

企業会計	水道事業	収益的収入	6億 2,809万 8,060円	資本的収入	14億 9,338万 974円
		収益的支出	6億 1,473万 2,875円	資本的支出	17億 1,656万 6,140円
	病院事業	収益的収入	18億 6,059万 6,941円	資本的収入	3,769万 5,072円
		収益的支出	20億 704万 1,331円	資本的支出	3,769万 4,004円
	訪問看護ステーション	収益的収入	4,626万 6,551円		
		収益的支出	4,093万 1,377円		



## 5つの施政方針

復興総仕上げの加速化

産業の振興

ラムサール条約の活用

多様なコミュニティの再構築

## 総括的質疑

問(後藤伸太郎議員)町の最重要課題は復興の完遂であり、町長も「施策の二丁目一番地」と表現している。復興のゴールが100だとしたら、令和元年度中にどこまで進められたと考えているのか。

答 人それぞれの捉え方に差はあると思うが、少なくとも9合目は越えた。震災でお世話になった方々へ感謝状の贈呈をしているが「今、復興はどこまで」と聞かれる。その際には「全町民がいのすまかに入ることが区切り」と答える。防潮堤など残る事業をふんどしを締めてやっていく。

問(及川幸子議員)復旧に努めているが、震災で町を離れた人が戻ってくる環境整備を進める気はないか。

答 震災から9年経過し、元町民の方が戻るのは難しいと思う。交流人口は別の形で、南三陸町の活力という観点での交流人口に特化していく。

問(倉橋誠司議員)観光の柱にラムサールを入れるが、ワールド浪漫などの観光資源をもつとPRしてもよかつたのでは。学芸員など専門家の体制充実もすべき。

答 ロケーションや食材など売りは数多くあるが、すべての資源の活用は難しく、限度がある。外部の人の力や各種産業・観光に関わる人など、オーラル南三陸の力を結集していく。

問(千葉伸孝議員)人口減少での税収減が心配だ。町長はその分を交流人口

答 自然環境活用センターがあり、越冬中のコクガンなど自然観察ができる。海のビクターセンターもあり、2カ所で観察できるので新たな施設はつくらない。

《一般会計》

歳入

高い収納率  
今後維持を  
〈町税〉

問 (後藤伸太郎委員) 個人町民税、固定資産税、軽自動車税で不納欠損額42万円があるが。

答 死亡や処分する財産がない等21人分、規定に基づき滞納整理不可になった。

問 (倉橋誠司委員) 固定資産税と軽自動車税の税収が増えたが。

答 土地の種別変更の影響と、軽自動車税は税率が変更になったため。

国勢調査の影響は  
〈地方交付税〉

問 (今野雄紀委員) 10月から国勢調査が始まるが、結果によって影響は。

答 被災地であるため、復興庁経由で総務省に段階的補正措置の要望を出している。現在、国から

ごみ減量化の取り組みを  
さらに前へ  
〈衛生費〉

問 (千葉伸孝委員) ごみ袋が有料化されたが、ごみ減量化の効果は。

答 一定の成果はあった。前年度より80t減少、家庭ごみは30t減少した。生ごみは30t増加した。

問 (今野雄紀委員) 災害公営住宅での生ごみ回収率を上げるため、各階に回収バケツを置いては。

答 においの問題など管理が難しいと思う。

農業委員会、制度改定の  
成果は  
〈農林水産業費〉

問 (須藤清孝委員) 制度が大きく改定された農業委員会の活動状況は。

答 農地の荒廃化防止の活動をしている。田の浦地区の農地に地元企業が参入し、利用面積が倍増した事例もある。

ふるさと納税減収 どう分析  
し次につなげる  
〈寄附金〉

問 (千葉伸孝委員) 来年度、震災復興特別交付税33億円はなくなるのか。

答 復興事業が終了する時点でなくなる。町民生活に影響は出ない。

注目の質疑

住宅使用料の事務処理  
適正化は  
〈使用料〉

問 (後藤伸太郎委員) 決算書附表に町営住宅使用料・駐車場使用料の未済額がゼロになっているが、446万円あるのでは。

答 指摘の通りである。決算までに精査不足で調定が間に合わなかった。担当課にきつく改善を求めたところである。

問 (千葉伸孝委員) 住宅使用料が対昨年度で1千万円増えたが、今後の見通しは。

答 大枠では耐用年数が過ぎれば料金は下がるが、個別には入居者の所得による変動もあり、一概には言えない。

注目の質疑

海洋調査の結果を産業に  
活かす  
〈農林水産業費〉

問 (高橋兼次委員) 潜水調査、藻場調査をおこなったが、産業振興に結びついているか。

答 潜水による生物相調査や、陸上養殖の研究、ウニの除去へのロボットの活用など、様々な分野の研究者が多く訪れ、成果が上がっている。藻場調査の結果はアワビの放流などに活用されている。

ラムサール、湾内全域  
指定へ  
〈農林水産業費〉

問 (今野雄紀委員) 看板を登録から除外されている区域に設置した理由は。

答 いずれ湾内全域で認証を受けるので、多くの人の目に触れる場所に設置した。まず国立公園に編入し、4年後の会議でラムサール条約登録区域も変更する予定。

問 防潮堤があることが障害にならないか。

答 環境省とも協力し、町で保全計画を立てて進めていく。

歳出

マイホーム取得補助の  
実績は  
〈総務費〉

問 (山内孝樹委員) 定住促進のための補助金だが実績は。

答 一昨年は3件、昨年は2件分を支出した。

地域おこし協力隊、着  
任わずか1人  
〈総務費〉

問 (今野雄紀委員) 昨年度の新規隊員は1人。どのように募集し、決定しているのか。

答 応募はもつとあったが、面接等で決定した。

問 震災伝承施設のプログラム作成という業務でも隊員を募集しているが、外部から来た人が取り組める業務か。

答 この業務への応募はゼロだった。難しい業務だったかと思う。今年度は募集していない。

保育士充足のために  
できることを  
〈民生費〉

問 (須藤清孝委員) 保育士確保のため就学資金の貸付をおこなっては。

答 一つの考えではあるが、貸付か給付か、財源はどうするかなど慎重な検討を要する。

復興事業進捗の裏で  
〈民生費〉

問 (佐藤正明委員) 仮設住宅はすべて解体されたが、その跡地利用に支障が出るようなケースが見受けられる。改善工事の財源はないのか。

答 水たまりができたといったことがあるが、



事業は完了しているので改善工事をするなら町の負担になってしまう。

注目の質疑

特定不妊治療への助成  
で高い実績  
〈衛生費〉

問 (星喜美男委員) 経済的理由で治療をためらうケースはどれくらいか。

答 理由までは把握していないが、6組に助成し、5組で実際に妊娠した。国では保険適用も議論されているが、助成額の増額を考えては。

問 現在は県と町で15万円ずつの助成。打てる手は打つ必要がある。検討する。

図書利用促進のため各地域で  
環境整備を  
〈教育費〉

問 (今野雄紀委員) 各地区の公民館の中で、生涯学習センターの利用者のみが多い一極集中の状況。中長期的な視点から、各公民館で本を貸し出せる施設整備が必要では。

答 震災前から同様の状況であり、効率的なやり方を中長期的に考えた結果が今の体制である。交通弱者の方にも移動図書によってしっかりと本を届けられるよう取り組む。

中高一貫教育の抜本的  
な見直しは  
〈教育費〉

問 (今野雄紀委員) 県内唯一の中高一貫教育だが、発展的解消も含めて見直しが必要では。

答 高校は県の管轄だが、より良い形を模索していく。解消よりむしろ連携を強化し、地域教育を推進していく考え。



海洋調査の様子  
(自然環境活用センター提供)

組み合わせでは。

答 ホームページで求人票は閲覧可能。土日開館や時間延長にも取り組んだが、当面は現状の取り組みを継続する。

みちのく潮風トレイルの  
利用拡大を  
〈商工費〉

問 (千葉伸孝委員) みちのく潮風トレイルを利用しやすくする取り組みは。

答 田東山から神割崎まで全長38kmの町内ルートに9カ所の看板を設置した。観光促進のために、地域へ下りられるルートも開発中。

問 (山内孝樹委員) 歌津地区のふるさと緑の道は入っているか。

答 ルートに入っており、管理もしている。

雇用状況の改善に向  
けて  
〈商工費〉

問 (倉橋誠司委員) 無料職業紹介所の状況は。

答 働き手が不足している状況が続いている。有効求人倍率は3倍以上。他の市町村にも求人を出している状態。

問 パソコン端末を設置するなど、工夫して取り

**平成の森周辺施設を有効活用せよ**  
〔教育費〕

**問** (山内孝樹委員) 敷地内のキャンプ場に堅穴式住居があるが、有効活用されているか。

**答** 震災後活用されたこともあったが、現在は施錠され使われていない。施設としては残していき、希望があれば中を見せるなど活用していきたい。

**問** 魚竜化石はどのように展示するのか。

**答** 吉野沢の収蔵庫から歌津総合支所内に移動し、展示する計画。

**総台防災訓練の成果も可視化を**  
〔消防費〕

**問** (後藤伸太郎委員) 防災訓練についての独立した項目がないため、効果が測りづらいのでは。

**答** 来年度から詳細な資料添付を検討したい。

**台風からの復旧は臨機応変に**  
〔土木費〕

**問** (菅原辰雄委員) 自力で復旧した箇所への補助をもっと考えては。

**答** 臨機応変に対応しているが、予算や制度の関係で、災害査定を受けていない所に補助を出すのは難しい。

**農地復旧は進んでいる**  
〔災害復旧費〕

**問** (千葉伸孝委員) 復旧の要望件数は。

**答** 町全体での復旧対象箇所は267カ所。そのうち94カ所に補助を出した。自力で復旧した箇所も含め、8割ほどは作付けを行えるよう復旧できた。町管理の農業施設は26件中8件が終了。残りも今年度内に対応する。

**注目の質疑**

**入谷小の災害復旧、またすぐ崩れ**  
〔災害復旧費〕

**問** (佐藤雄一委員) 法面の復旧工事をしたが、またすぐに崩れた。どうか。

**答** 災害復旧工事とは因果関係はない場所が崩れた。今後対応する。

**問** 直してすぐにまた崩れるとは、本当に適正な調査をしたのか。さらに崩落があるようなら、有事の際の避難所である入谷公民館にも行けなくなるのでは。

**答** 法面全体の調査をしたわけではない。今後、地域の意を用いて工事を進めていく。

**防潮堤工事は終わるのか**  
〔復興費〕

**問** (高橋兼次委員) 防潮堤工事230億円のうち、2年度以降の支払い分が130億円残っている。事業完了の見通しは。

**答** 復興事業は国が最後まで対応すると表明しているが、19漁港のうち完成したのは2漁港。2年度内に全体の6割は完成させたい。

**問** これまでの予算の執行率は7割ほど。計画通り進められるか。

**答** 防潮堤工事は昨年度よりやく本格化した。2年度もそれと同様に進め、工事規模が10億円以下の漁港は完成させたい。

**《特別会計》**

**国民健康保険**

**問** (及川幸子委員) 一般会計より繰入金金が1億5千万円あるが、来年は。

**答** 同じ傾向でいく。

**問** (後藤伸太郎委員) 特定健診は、受診率が4割で、目標の設定は。

**答** 受診率が上がるよう努力している。

**問** (高橋兼次委員) 収入未済額の元年度分と30年度分は。また、その年度内の回収は。

**答** 年度ごとではなく、被保険者ごとに管理。

**市場事業**

**不漁の原因は**

**問** (今野雄紀委員) サケの水揚げ減少の原因は。

**答** 海水温の上昇や外国船の捕獲など、様々な原因が挙げられる。

**問** 町独自の対策は。

**答** 網上げを2週間前倒ししたり、1つの定置網を残し卵を熟成させ確保している。

**問** (千葉伸孝委員) コロナ対策支援事業で、カキ生産者が対象でない訳は。

**答** カキ養殖業は影響が少なく、漁協からの客観的な公的データが必要。

**病院事業**

**安心して産める環境整備のためには**

**問** (千葉伸孝委員) 病院の産婦人科の体制は。

**答** 金曜日午後から非常勤医が診療している。

**問** 緊急時の対応は。

**答** 石巻日赤など中核病院を紹介する。

**討論**

**反対** 及川幸子委員  
国保税も税と思う。自身の精査を。

**起立採決の結果**  
賛成12人  
反対2人

**認定**

**正 算**  
**補 予**  
**8月臨時会**

# コロナ対策さらに30事業

**問** (千葉伸孝委員) てんこ盛り商品券の利便性は。

**答** 1万5千セットを販売。1セット千円券×10枚綴りで、来年2月まで有効。町内各世帯に先行販売し、後日町内外の方々に第2弾として販売する。利用可能店舗は幅広く募集中。

**問** (後藤伸太郎委員) 避難所の感染拡大防止対策として何を購入するのか。

**答** 体温計、パーテーションなど。マスクや消毒液は既に在庫がある。

**問** 移住定住の促進事業の仕組みは。

**答** 町内の空き家をリフォームして移住者に貸し出す。想定期間は10年間。

**問** (今野雄紀委員) 地元産材使用のキャビン建設は、1人・2人用も必要では。神割崎でも良いが、

**答** 3月を待たず、既存のシステムで一番早いタイミングで支給したい。

**問** (倉橋誠司議員) 誘客回復プロモーション事業で期待できるものは。

**答** 消費の拡大をメインにしている。新メニュー開発も含め、南三陸の魅力をもPRしたい。

**案 議**  
**議 審**  
**8月臨時会**

**教育用タブレット700台を購入**

8月中旬に中学3年生と教員分128台、9月中旬に小学3年生から中学2年生まで572台準備

**問** (倉橋誠司議員) タブレットは自宅に持ち帰れるのか。WiFi環境は。

**答** 各校長の判断になるが、自宅でもオンライン学習という時代に入っていくと思う。LTE回線を使う。電話機能はない。

**問** (今野雄紀委員) 財産の取得という議案だが、ハード(タブレット本体)とソフト(通信料)を分けるべきでは。

**答** 入札は本体だけでなく通信料も含め、混同しないよう整合を図った。

**復興工事で傷んだ道路補修認定は4路線のみ**

**問** (及川幸子委員) 町道管理不備の際の保険は。

**答** 損害賠償には全国町村会の保険制度で対応。

**問** (山内孝樹委員) 名足小学校線が外れたが。

**答** 亀裂等が発生するなど、重篤な状況に陥っている路線が対象になった。児童の避難等に危険のないよう状況を確認したい。

## てんこ盛り商品券などに4億8,000万円

①てんこ盛り商品券発行	1億5,332万円	⑩新生児子育て世帯への支援	552万円
②新たな事業展開等への支援	8,000万円	⑪コロナ対応ブックレット製作	500万円
③漁業者経営安定化支援	3,240万円	⑫農業者への経営継続支援	300万円
④地元産材使用キャビン建設	2,970万円	⑬任意団体への持続化給付金	300万円
⑤事業者家賃支援	2,700万円	⑭社会福祉施設感染拡大防止支援	271万円
⑥誘客回復プロモーション事業	2,300万円	⑮病院リモート面会システム整備	246万円
⑦ホタテ養殖への支援	1,936万円	⑯非接触型体温計設置	240万円
⑧中小企業への支援	1,500万円	⑰スポーツイベントの誘致	200万円
⑨小規模事業者への支援	1,500万円	⑱行政事務手続きオンライン化	194万円
⑩避難所等の感染拡大防止	1,100万円	⑲町指定管理者への支援	150万円
⑪オンライン教育の推進	1,061万円	⑳母子父子家庭への支援	126万円
⑫移住定住促進空き家リフォーム	1,014万円	㉑町民バス臨時運行	120万円
⑬事業組合再起支援給付金	1,000万円	㉒病院感染防止チャーム整備	116万円
⑭病院オンライン診療の推進	640万円	㉓農林業に融資した金融機関利子補給	30万円
⑮水産物の販売促進PR	569万円	㉔農業者へのJA利子補給金	20万円

# 震災復旧、台風復旧 急ピッチで

- ・町道寄木線震災復旧  
45号線の迂回路撤去。
- ・弥惣川台風復旧  
3カ所を一括発注。水道管2次被害を懸念も、生活道路は順次発注。
- ・滝浜川台風復旧  
河川内瓦礫の撤去はケースバイケースで。
- ・波伝谷水産用地  
高台避難路、階段も検討。
- ・町道平磯線改良工事  
用地買収が進み、施工区間を86.5m延長。
- ・中橋築堤工事  
堆積物露見も置き換え済み。10月12日の公園全体開園に影響なし。
- ・葦浜漁港震災復旧  
物揚げ場背後用地を舗装。
- ・館浜漁港震災復旧  
道路分断も迂回路で対応。
- ・細浦漁港震災復旧  
町道冠水箇所は改良検討。
- ・荒砥漁港震災復旧  
必要最小限の階段を設置。
- ・折立漁港左岸震災復旧  
進入路は陸開で新設。
- ・津ノ宮漁港震災復旧  
防潮堤の法線変更で、水産用地をやむを得ず縮小。
- ・町道平磯線改良工事  
大幅に区間を延長し、718m発注。未施工区間は残り260m。



10年を目標としてきた震災の復旧も9合目。震災による災害復旧事業は、昨年完了した生涯学習センターをもって終了し、防潮堤関連事業を残すのみとなった。今定例会において13件の工事関係議案をすべて可決し、半年後のゴールへ向け全工事が一気に加速する。

**問** (今野雄紀議員) 町内全域にある流用土の残量と、今後の見通しは。  
**答** 正確な数字を持ち合わせてはいないが、防潮堤にすべての再利用はできない。周辺地盤の高さ調整や地権者の要望があれば対応していく。

**問** (後藤伸太郎議員) 防潮堤本体工から陸開部を控除による減額とあるが、数字の行き違いがあつてはならないかと思うが。  
**答** 数量等を精査した際、設計段階での精査が不十分なまま発注に及んでしまった。正当な契約とす

るため、変更させていた。また、(高橋兼次議員) 各地区にある、水産関係用地の管理と使用内容の取り決めをはっきりと示すべきでは。  
**答** 必要であれば、検討する。原則として賃貸契約は結ばない。清掃等は各地区にお願いし、瑕疵の破損をのぞく経年劣化に関しては町が修繕する。

**問** (今野雄紀議員) デジタルアーカイブなどの事業内容があるが、当町の伝承施設との連携は。  
**答** 広域的な連携の模索は必要である。石巻に計画中の県の伝承施設を中心に連携機能が構築されていくと考える。

## 広域事務組合ふるさと基金を取り崩し 次の5年間の計画を

平成4年策定のリアス・アーク美術館の企画管理計画について協議し、3240万円のうち、240万円を取り崩す。計画期間は、令和3年度から7年度までの5年間。

**問** (及川幸子議員) 入館者数の確保やPR等、今後の対応策は。  
**答** 震災後は一万人を超えたが、最近では緩やかな減少傾向にある。震災の展示に頼る時期ではなく、SNSを使った啓発や圏域文化施設のスタンプラリーなどで、利用率を上げていきたい。

## 人事

教育委員会委員(阿部麻帆氏)と固定資産評価審査委員会委員(西條勲氏・及川透氏・阿部和夫氏)は提案のとおり任命することに同意し、人権擁護委員(大山たつ子氏・佐々木房江氏)を推薦することについても適任と決した。

# 正算 補正 11億円の大型補正 9月定例会

## 注目の質疑

**震災伝承施設アート製作に2年間で5000万円**

**問** (後藤伸太郎議員) 震災伝承施設アート製作事業の具体が見えない。誰が何をつくるのか。  
**答** これまでいただいた支援に感謝と希望を表現し、芸術家だけでなく町民の方も参加しながら、アートを作り上げていく。

**問** (及川幸子議員) 道の駅の整備の方法を単独型にした理由は。  
**答** 道の駅に接している一般国道398号線は県管理の国道のため、県に相談したところ、これまで県は道の駅に対する補助をしたことがないというところで、単独型になった。

**コロナで減収の病院へ1億5000万円**

**問** (今野雄紀議員) 収益が思わしくない理由だが、減額部分を伺う。  
**答** 収入は、新型コロナウイルス感染症に係る影響額として、医業収益を9500万円減じ、月額当たり800万円を影響額とした。

**問** (及川幸子議員) 毎月の報告があるが、今後を見込んでの金額か。  
**答** 先が見えない中で、どうしても予測しながらの部分もある。一方、病院の収益が下がっているため、手持ちの現金が減少しているという実情だ。



上の山の保育所跡地

**上の山緑地整備に社会資本整備総合交付金活用**

※社会資本整備総合交付金(社総交)：  
地方公共団体が作成した計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備のほか、ソフト事業を総合的に一体的に支援する制度。

**問** (後藤伸太郎議員) 上の山緑地等整備工事の具体的な内容は。  
**答** 3400万円計上したうち、駐車場部分に100万円、公園部分に

**コロナ発生時の消毒費用に助成最大10/10**

**問** (後藤伸太郎議員) 商売をしているところは上限が2/3で、高齢者がいる世帯や災害公営住宅は10/10とのことだが、予算上それが限界なのか。  
**答** 一般家庭では自ら消毒をお願いしたい。高齢者などの世帯や大規模な共同住宅の共有スペース、団体などを想定した。

**仮庁舎解体工事設計に1300万円**

**問** (高橋兼次議員) 解体に工事設計業務委託料はあまり聞いたことがない。工事費も含まれるのか。  
**答** 第3庁舎は診療所として使用していたため、レントゲン施設など特殊

なものがあり、解体の設計が難しいのもある。  
**問** (今野雄紀議員) どのような根拠で1300万円が積算されたのか。その経緯は。  
**答** 旧診療所で使用していた部屋や、機材などの撤去、処分等の中身があり、それを参考にした。



解体される第2・第3庁舎

人口対策

遠隔勤務者の移住受入強化を

町長 幅広く受け入れていく



情報発信している。

移住・定住の一番の不安は、地方に仕事がないことである。そこで、リモートワーク（遠隔勤務）に限定して募集すれば、仕事に対する不安は解消されると思うが。

リモートワーク限定となると、施設や環境面

の整備が必要となる。コロナ終息後も見据えた検討が必要だ。

新型コロナウイルスの感染拡大により、東京一極集中は正の声が高まっている。人口減少が著しい本町では、移住に關心を持つ若者を受け入れる絶好の機会である。まちの魅力をどう発信していくのか。

内閣府によると、東京都に住む20代の35%が「地方移住に関心が高まった」と回答している。本町では移住・定住支援センターが中心となり、ホームページやSNSで



黒崎地区より



海の幸

このまちに生まれ住んで良かったと感じる一つに、新鮮な海や山の幸をたらふく食べられることがある。要件を満たせば漁協の准組合員の資格取得も可能で、副業として

大きな魅力と思うが。これまで本町に誘客を行う際には、地域のロケーションや美味しい海産物、農産物売り場にきてきている。リモートワークに限定せず、従来通り続けていく。

全国的な競争で他との差別化が必要だ。本町は黒崎地区である。夏は南風で涼しく、冬は北風が入らず比較的温暖で、海が一望できる最高の住宅地になる。整備をして移住者を迎えてはどうか。

新たな土地の造成は難しいが、今度、3棟のログキャビンを新設して、ワーケーション（働きながら休暇を取る）も想定した利用や空き家の活用を考えている。

リモートワークをしている企業は、IT関連や大手企業で高所得者層が多く、多少の投資はやむを得ないことと思う。地方創生の財源で予算化はできないか。

全国への助成も制度化し、補正計上する。コロナへの対応として前倒しで導入したタブレットだが、上手に活用する準備はできているか。

民間への助成も制度化し、補正計上する。コロナへの対応として前倒しで導入したタブレットだが、上手に活用する準備はできているか。

震災後、造成工事の騒音対策として一度設置されたが、リースだったため撤去された。今後設置される見込み。

保育教育

希望どおりの保育を受けられる町へ

町長 来年度、待機児童ゼロを目指す

現在、待機児童は何人いるのか。

志津川ではなく入谷なら可、など、希望の施設以外でなら受け入れられる「保留」は13人。町内では受け入れられない「待機児童」は2人。

希望通りの場所で保育を受けられない子どもがこれだけいるのは大きな問題。要因は。

施設によって希望者数に偏りがある。志津川、伊里前保育所は満員。3歳未満の入所希望も多く、

人手の確保も困難。保育料の無償化など、子どもを預けやすくなったことも背景にある。

対策は。定員に余裕のある施設へ誘導するとともに、混合クラスの編成や補助員の配置などで対応。

補助員の資格取得は通信教育でも可能なので、支援を検討している。

来年度、この待機児童の数をどこまで減らすことを目標とするか。

ゼロを目指す。

8月初旬、学校関係者に新型コロナウイルス感染者が確認されたが、対応の詳細は。

その日のうちに4校の休校を決め、統一した



昨年のクリスマス。「子は町の宝」

コロナ

町長 物資供給の協定締結など、十分な備えがある

備蓄は十分か。

マスク97,000枚、消毒液160本など、学校や避難所も含め十分な量がある。コメリ、生協と協定を結んだことで、緊急時には必要な物資を供給してもらえる。

情報開示の体制整備など、安心を確保するための備えも大切だが。

県の方針に従うことが基本。いじめ防止などの啓発にも力を入れる。

さんさん商店街への落書きという、心ない行為があった。感染の疑いがあったとしても隠そうとして



感染症予防に必要な物資の確保

しまう人が出てくることを懸念するが。

それは絶対にしてはいけないこと。症状が出た場合には正直に受診してほしい。

水泳環境

コロナ禍で水泳ができなくなったが

町長 県内クラスター発生で遊泳禁止に  
教育長 温水プール開設は困難



容認したのか。

答 大きな看板を立てたが、一部でルール無視の利用が見受けられたため監視員による注意喚起を行った。

問 林際町民プールも開設中止になった。周知は充分だったか。

答 例年35日間程度開放

し、幼児小中学生を中心に約400名の利用がある。コロナ対策をとった上で期間短縮し開設する予定だったが、県内クラスター発生で中止とした。防災無線と各学校を通じて周知した。

問 林際は入谷の原風景感じられる日本の原風景

問 コロナ禍で今年の夏は全国的に水泳がしにくい環境になった。サンオーレ袖浜も開設が中止になったが。

答 新型コロナウイルス感染症拡大防止とサンオーレ袖浜海水浴場運営ガイドラインに基づき、短縮して16日間開設する予定だったが、県内でクラスターが発生したため遊泳禁止とした。

問 遊泳禁止の中でも遊泳する人を多く見たが、



コロナ禍のサンオーレ袖浜

である。森林浴も可能でインスタ映えもする。さんさん館もあり、観光客のプール利用も望めるのでは。

問 駐車場は校庭部分だけなので、町民利用を考えている。町外の方々に視線は向けていない。

問 南三陸町は、バイオマス産業都市構想を目指しながら復興を進めている。バイオガスやペレットを利用した温水プールの設置はできないか。

答 大きいとの見積もりになった。

問 中学校にはプールはないが、水泳の心得として安全指導を行っている。小学校にはプールはあるが、今夏は水泳授業を行わず安全指導とした。

問 二酸化炭素削減は図れるが、バイオガスやペレット熱源の場合の費用対効果等の検証が難しい。多額の建設費と維持管理費用を要するため困難である。

問 第2庁舎第3庁舎を解体し整地した後に、文部科学省の補助事業を申請し温水プールの建設を検討しては。

問 過去の議論の中では、インシヤルコストよりラニングコストの負担が

問 コミュニティスクール重点は学校支援にあり、一般町民へのプール開放は考えていない。人材確保など多くの課題があり現時点では難しい。

問 トンネル内の汚染稲わらの今後の処理計画は、具体的などのような

問 処理をするのか、方向性はまだ出ていない。

環境問題

すき込みの実験結果と今後の処理対応は

町長 一日も早い汚染牧草問題の解消を目指す

問 地域住民と保管農家に対して、安全・安心を担保とした丁寧な説明が行われてきたか。

答 今年に入り3月、6月、8月と3回にわたり実施した結果、いずれの検査においても牧草や付近の水からも放射性セシウムが検出されない旨を管理農家に対して伝えた。

問 現在保管している農家の数と保管量は。

答 農家の数は15軒、保管量は約280t。再梱包は一律ではないが、1

700個。安全性は担保されているのか。

答 牧草については、牛に餌として与えてもよいとの回答を県よりいただいている。

問 今後どのような形で処理されるのか。また、処理方法の計画は。

答 今回の実験の結果を活用し、国の補助金を活用し、各保管農

家等の理解をいただきながら計画的にすき込みを実施していく。一日も早い汚染牧草問題の解消を目指していきたい。

問 拡散拡大をしないので一カ所に集めて、集中的にすき込みをしたほうが手っ取り早いと思うが。

答 町としてもできれば20・30tと処理できる広い場所でのすき込みを実施したいと考えている。

問 観光立町として農業観光を推進していく考えはないか。

答 交流を目的とした民泊体験は非常に関心を高めており、中山間地域の振興に寄与する取り組み

農業観光

町長 厳しい現実から認識している

問 観光立町として農業観光を推進していく考えはないか。

答 交流を目的とした民泊体験は非常に関心を高めており、中山間地域の振興に寄与する取り組み

問 国でも観光による地方創生の支援を行っている。積極的に町でも考える。積極的に町でも考える。積極的に町でも考える。

答 工房のものづくり学習、農業体験だけでなく、

問 畑総事業の施設が、洪水のように流れ込む雨で農作物に被害をもたらす状況を判断して、整備も必要と思うが。

答 何十年と年数が経過している現状もある。引き続き、町としても支援

道路整備

町長 本格的に着手して早期の完成を目指す

問 先の議会において工事契約が締結され、締結された工事が最近になって始まった。遅れた原因は。

答 昨年の台風19号の大雨によって学校施設の一部が被災したことから、児童生徒の安全確保を最

問 地区の避難場所であることから、災害時にスムーズに通行できる幅員になっていくか。工期は。

答 道路幅員は全幅で5m。工期は12月まで。

問 通学路の危険なブロッ

答 9件を調査して、7件が危険と判断された。県から所有者に改善の連絡をしていただいた。

問 農業交流を積極的に展開していると考えている。畑総事業の施設が、洪水のように流れ込む雨で農作物に被害をもたらす状況を判断して、整備も必要と思うが。

答 何十年と年数が経過している現状もある。引き続き、町としても支援



工事が進む入谷公民館進入道路



処理を待つ汚染稲わら

校則の運用

生徒が感じる矛盾に、どのように応える

教育長 しっかりと受け止め、対応できる姿勢を整えていく



していないが、先生たちは、生徒たちの気持ちを十分に汲み取っていると思う。

問 もう一度確認する。

生徒からの声は上がって来っていないという見解か。

問 校則については様々あるようだ。髪型に関してははないと把握している。

答 校則が細分化され、より厳しく窮屈だと感じている生徒がいるのでは。

問 以前よりは自主性を認め、保護者などで意見を聞き、毎年柔軟に見直しと改善を図っている。

答 以前よりは自主性を認め、保護者などで意見を聞き、毎年柔軟に見直しと改善を図っている。その分、さまざまな決まりが増え、そのような印象を持っているのだと思う。

問 校則はあてがわれていくかを基準として、見直しと改善を図っていく。

答 本音を言えない生徒もいる。具体的な調査は、校則はあてがわれていく、そのものではなく、内面的な自覚を促せるのが理想的だ。実際には校則の受け止め方は一様ではない。健全に成長するための指針となっている。直しと改善を図っていく。

に改善する余地は生徒たちに担保してある。

問 ツープロツクを禁止している理由と、改善の考えはあるのか。

答 義務教育の段階ではある程度の決まりは必要である。また、自立心を育てるため、生徒自身が中学生らしい髪型を考え、集団生活の場にふさわしいものなのかを判断して行くことが大切だ。生徒や保護者の考え方などを踏まえ、子どもの成長を第一に考えた見直しが図られることが望ましい。

問 校則に明文化された

のはいつごろか。

答 時期は把握していない。学校では奇抜な髪型の例としてツープロツク、モヒカン、アシンメトリという3つの髪型を提示している。

問 内心では校則の現状に疑問を感じている教師もいるのではないか。きちんと把握しているか。

答 髪型に限って把握しているというところではなく、全体的なこととして学年部会などで毎回議論し、学校評価を行なっている。

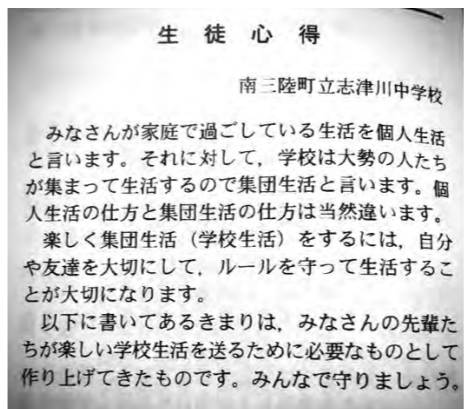


心の声が聴こえるのなら導いてほしい

いる。その上で共通事項とし、教育に励んでいる。

問 平成初期、国が動き頭髪の自由化が進み、当時の先生方は、生徒を議論する場に導いた。置き勉の緩和も含め、国の通知がないと動けないのか。

答 当時、生徒指導のあり方が変わり、学校が大きく変わった。国の方針後ろ盾があることで自信を持って教育改革ができる。置き勉については、積極的に変えていく。



どれだけの生徒が、理解できているのだろう

道の駅構想

道の駅に地元農産品の販売拡大を

町長 どなたでも農産品を持ち込める

問 伝承館の名称募集の結果は。

答 一回目の募集資格を町内に住所を有する方としたので、30名の件数にとどまった。二次募集では1カ月延長し、全国を対象とし、480件が集まった。町民からは280件となった。

問 名称の骨子案では「南三陸311メモリアル交流館」だったが。

答 ゼロベースで、最終的には道の駅推進協議会で決定。住民との意見交



換会では、仙台にある名称を借り、仮称とした。

問 伝承館の内容に、戸倉小学校の被災校舎からの避難行動の表現は。

答 ロングバージョン映像で、詳しく当時の子供たちの姿を説明している。

問 南三陸町道の駅整備推進協議会委員名簿に、逝去された方や退会された方の名前があるが。

答 ホームページの更新ができていなかった。

問 隈研吾氏の伝承館の説明では、祈念公園は道の駅構想の一部と言うが。

答 祈念公園と道の駅は別で、商店街と伝承館を合わせて道の駅として建設している。

問 説明会で語り部をしている町民の方が「私も

参加したい」と言っているが、可能か。

答 伝承館施設は管理委託をかけた受託者の管理で、プラスアルファの自主事業として、語り部との連携も可能。どなたでも参加できる。

問 町長の震災遺物の差別化とは。

答 大川小学校や気仙沼向洋高校など、圧倒的な震災被害を指し、積極的に町で関わる話ではない。

問 商店街から海につながる「しおさい通り」と

「海辺の広場」の整備は、令和2年から4年の3年間で都市再生整備計画で進めている。計画に基づいて社会資本整備総合交付金を活用する。

問 道の駅に町の農産品の販売スペースと参入農家の拡大を。

問 商店街のマルシェで扱っており、23の方が出品している。

問 他の農家の持込みは、体制は整っているのか。

答 町民の買物場として、利用率は、町外からの来場者が7〜8割となっている。

問 来年10月オープン予定の伝承館だが、来場者の想定は。

答 約4万人としている。

問 伝承館の来場者の有料無料の境は。

答 防災を中心とした学習施設部分が有料で、町民も含めた語らいの広場を無料スペースとした。

問 伝承館の展望台は2階で、足の弱い方もエレベーターで上がれるが、築山の高さとの関係は。

答 築山は海拔20mで、展望台は18mとした。コロナ禍の中で、商

店街の来場者の確保と経済回復への町の対策は。

答 10割増しの「てんこ盛り商品券」により、地域の宿泊業・飲食業の大きな手助けとなる。



道の駅に整備される伝承館の建設用地



完全義務化

来年6月までのHACCPの導入は

町長 必要な情報は町からも提供



問 HACCPによる衛生管理...

町からも提供する。問 これまでの衛生管理...

はなく、それぞれの工程で食品の安全の重要ポイント...

問 県では導入支援制度を創設して応援しており...



抜き取り検査から、予防を重視した安全の取り組みへ

問 ようやく残土もなく、かつてきた旧戸倉小学校...

問 これから事業を始め、かつて34の業種以外にも...

自然的利用

旧戸倉小学校跡地付近の今後の利活用は

町長 かつて太陽光発電の話が町にあったとき、ここならOKと言った



何か復興事業を

問 農地が集約化されたように、買い取った土地...

問 非常に残念である。区長や民生委員が詳しい...

問 空き家バンクに登録されている住宅を移住者に貸すことが先と思う。

コロナ対策

全世帯が購入できる仕組みにすべきでは

町長 「てんこ盛り商品券」期待が大

問 1億5千万円予算化した券の中身は。

問 最初は、1万円です。2万円利用できる券を町民向けに発行...



てんこ盛り商品券の受付

問 臨時会では9千セツト町民向け、6千セツトが町外用と説明されたが...

問 昨年のプレミアム付商品券は売れ行きが悪く...

問 大風呂敷がない人もいる。大風呂敷を広げ過ぎではないか。



問 あれは国の制度で25%増しであったので...

問 200万円の所得者が約80%いるので、買え

教育環境

あつてはならない教育の格差

教育長 タブレットの活用で、どこに住んでも同じ教育に

問 タブレット購入時の入札方法と今後の運用は。

問 非常に残念である。区長や民生委員が詳しい...

問 8月臨時会で700台のタブレット備品と、通信サービスを含めた1億円の議決をしたが...

問 エアコン導入後の教育環境を伺う。

問 利便性の高いLTE方式をとり、備品と役割提供を一括し、事業者が...

問 児童の教育に格差があつてはならない。今後の教育環境を伺う。

問 1社だけとあるが、

問 どこに住んでも同じ教育が受けられるよ



う、基本のアプリが入っているので大丈夫と思う。問 教員は風呂敷残業を強いられるようだが...

8月臨時議会 議案一覧 6件 (条例1件、工事1件、財産2件、予算2件)

条例	議案第79号	職員の特殊勤務手当に関する条例改正。
工事	議案第80号	町道名足線外舗装補修工事を日建工業(株)と1億5,400万円で契約締結。工期令和3年3月まで。→P.7
財産	議案第81号	消防団用防火衣一式を(株)古川ポンプ製作所より930万円で購入。
財産	議案第82号	教育用タブレット端末を(株)NTTドコモ東北支社より1億670万円で購入。備品や通信サービスも含まれる。→P.7
予算	議案第83号	令和2年度一般会計補正予算(第4号)。→P.7
予算	議案第84号	令和2年度病院事業会計補正予算(第1号)。

9月定例議会 議案一覧 44件

(条例4件、工事13件、人事6件、予算6件、報告2件、認定10件、発議1件、その他2件)

条例	議案第85号	手数料徴収条例の改正。
条例	議案第86号	病院事業使用料及び手数料条例の改正。
条例	議案第87号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の改正。
条例	議案第88号	都市公園条例の改正。
工事	議案第89号	寄木橋及び町道寄木線外道路災害復旧工事を山庄建設(株)と9,350万円で契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第90号	弥惣川河川災害復旧工事を(株)山健重機と5,610万円で契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第91号	滝浜川河川災害復旧工事を(株)沼正工務店と5,220万円で契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第92号	在郷地区外1地区水産関係用地等整備工事を(株)丸正工業と7,260万円で契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第93号	町道平磯線道路改良工事を(株)タカノ鐵工と1,630万円増額し、5,920万円に変更契約締結。工期令和2年9月まで。→P.8
工事	議案第94号	中橋地区築堤護岸工事を升川建設(株)と2,110万円増額し、8億4,540万円に変更契約締結。工期令和2年9月まで。→P.8
工事	議案第95号	葦浜漁港防潮堤工事を阿部伊・山庄JVと1,980万円増額し、26億3,840万円に変更契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第96号	館浜漁港防潮堤工事を山庄建設(株)と2,240万円増額し、5億6,730万円に変更契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第97号	細浦漁港防潮堤工事を渡辺土建・佐千代組JVと640万円増額し、34億4,340万円に変更契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第98号	荒砥漁港防潮堤工事を太田組・遠藤組JVと3,770万円減額し、16億2,490万円に変更契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第99号	折立漁港防潮堤左岸工事を只野組・丸正工業JVと6,130万円減額し、36億7,350万円に変更契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
工事	議案第100号	津ノ宮漁港防潮堤工事を只野建設・須藤建設JVと1,920万円減額し、5億2,990万円に変更契約締結。工期令和2年12月まで。→P.8
その他	議案第101号	権利の放棄。気仙沼・本吉地域広域行政事務組合ふるさと市町村圏基金を取り崩す。→P.8

その他	議案第102号	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合規約の変更に関する協議。→P.8
人事	議案第103号	教育委員会委員の任命。任期満了に伴い、佐藤眞理氏の後任に阿部麻帆氏を任命。→P.8
人事	議案第104号	人権擁護委員の候補者の推薦。大山たつ子氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を推薦。→P.8
人事	議案第105号	人権擁護委員の候補者の推薦。任期満了に伴い、佐藤富俊氏の後任に佐々木房江氏を推薦。→P.8
人事	議案第106号	固定資産評価審査委員会委員の選任。西條勲氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任。→P.8
人事	議案第107号	固定資産評価審査委員会委員の選任。及川透氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任。→P.8
人事	議案第108号	固定資産評価審査委員会委員の選任。阿部和夫氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を選任。→P.8
予算	議案第109号	令和2年度一般会計補正予算(第5号)。→P.9
予算	議案第110号	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第111号	令和2年度市場事業特別会計補正予算(第1号)。
予算	議案第112号	令和2年度水道事業会計補正予算(第2号)。
予算	議案第113号	令和2年度病院事業会計補正予算(第2号)。
予算	議案第114号	令和2年度訪問看護ステーション事業会計補正予算(第1号)。
報告	報告第4号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率について。
報告	報告第5号	令和元年度決算に基づく資金不足比率について。
認定	認定第1号	令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第2号	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第3号	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第4号	令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第5号	令和元年度市場事業特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第6号	令和元年度漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第7号	令和元年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定。→P.2
認定	認定第8号	令和元年度水道事業会計決算の認定。→P.2
認定	認定第9号	令和元年度病院事業会計決算の認定。→P.2
認定	認定第10号	令和元年度訪問看護ステーション事業会計決算の認定。→P.2
工事	議案第115号	町道平磯線道路改良工事を遠藤・佐千代JVと2億3,650万円で契約締結。工期令和3年3月まで。→P.8
発議	発議第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について。→P.21

決算審査特別委員会																		
案件名	委員名	審査結果	賛成	反対	採決結果													
					須藤清孝	倉橋誠司	佐藤雄一	千葉伸孝	後藤伸太郎	佐藤正明	及川幸子	村岡賢一	今野雄紀	高橋兼次	星喜美男	菅原辰雄	山内孝樹	後藤清喜
認定第2号		認定すべきもの	12	2	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○

※採決結果欄：(○)は賛成、(×)は反対。委員長は表決に加わりません。賛否同数の場合、裁決します。

# 意見書

## 議員提出議案

○発議第4号

### 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されます。

そこで、国に対し、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望する意見書が議員発議で提出され、可決されました。

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるように、総額を確保すること。
- 3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって、確実に終了すること。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

## 議会活性化特別委員会

# 議員報酬、協議を継続

議会活性化特別委員会では、次期改選後の議員定数を13人と決定したことにより縮小される議会構成での委員会活動のあり方について協議・検討を進めている。  
また同様に、無投票だった前回の町議会議員選挙を重く受け止め、若い世代の参画を促すための環境整備を目的として、議員報酬についても検討を重ねている。

8月19日

### 議員報酬について協議

新型コロナウイルス感染症の終息が見込めず、南三陸町内の経済活動にも影響が及んでいる状況の中で、昨年からの検討している議員報酬について、このまま検討を進めるべきか協議した。  
全委員から意見を聴き、「新しいなり手に焦点を合わせれば、定数削減は新規参入にとって高いハードルになる」「改選時期を考えれば、十分な準備期間が必要だ」などの環境を十分に整えるべきか協議した。

9月10日

### 組織体制を検討

現行の委員会構成において、議員定数を削減することによって1常任委員会の構成人数も減ることから、合議体としての機能の低下が懸念されるため検討を行った。総務・産業建設、民生教育の3常任委員会を2つに再編し、新たに議会広報特別委員会を常任委員会とすることとした。  
今後は、各委員会の名称や所管を検討し、縮小した組織でも機能低下を招くことのないような議会構成を決定する。

## 通年議会・通年会期について勉強

9月10日の午後には、宮城県町村議会議長会から事務局長の村上恵造氏を講師としてお招きし、通年議会・通年会期について研修会を開催しました。

現在は定例会や臨時会のたびに招集されていますが、会期が通年となることで年1回の招集となり、継続した議会活動ができるようになります。

今回の研修で導入した場合のメリットやデメリットを教えてくださいましたので、今後も慎重に調査・検討を行いながら導入の可否を判断し、議会の機能を高める取り組みを進めていきたいと思っております。

## 総務 常任委員会

# 教育施設の活用と管理は

令和2年8月24日、役場にて、学校施設と社会教育施設の維持管理経費についてと、その活用方法について、担当職員から聞き取り調査をおこなった。

### 調査の目的

震災復興交付金事業期間も残すところあと半年。自立の道を模索しなければならない中、人口減少が加速し、感染症拡大による経済への悪影響もある。持続可能なまちづくりのためには、将来を見据えた財政状況の把握、

とりわけ震災後に大きく増大した町有財産の活用が重要であることから、今回は学校施設、社会教育施設といった教育財産について調査をおこなうものである。

### 調査の概要

教育総務課職員及び生涯学習課職員から、教育財産の管理・活用状況等について、聞き取り調査をおこなった。

学校施設関連では、各小中学校毎の維持管理経費を精査し、震災前のデータと比較しながら検証したが、児童・生徒の数はおよそ半減しているが、維持管理経費はほぼ横ばいという状況

であった。

社会教育施設関連では、すべての公民館、図書館の復旧が完了したため、維持管理経費が震災前と比較して大きく増大している。ただし、利用者数、来館

者数も歌津公民館以外は大きく伸びており、町の活性化に一定の役割を果たしている。

今後さらに調査を継続し、必要な施策を検討していくこととする。



生涯学習施設も有効活用を

## 産業建設 常任委員会

# 林業振興について

令和2年8月21日、入谷YES工房において、農林水産課職員及び入谷YES工房代表者からFSC材の利用促進に向けた取り組みについて、聞き取り調査をおこなうとともに、実際の取り組み状況を現地視察した。

### 調査の目的

自然の恩恵を受けて成り立っている当町の産業であるが、町の面積の約8割を占める森林は、あらゆる産業分野の源であると考えられる。

平成27年10月にFSC国際認証を取得し、町産材のブランド化を図る施策を展開してい

るが、高齢化社会の加速化や人口減少などによる後継者・担い手不足が要因となり、適正な森林の管理はもとより林業の振興自体も危惧される。

よって当委員会では、当町の産業すべてに影響を与える森林の今後の適正な管理及び林業振興方策について検討するため、調査をおこなうものである。

### 調査の概要

南三陸森林管理協議会としてFSC国際森林認証を取得し、南三陸町の山林を「宝の山」とすべくアイデアを出している。教育旅行へも取り組み、当町の杉枝を利活用したスプーンなどを手作りするワークショップは好評であり、プロモーションビ

デオを作成し、コロナ禍でもリモート教室を実現している。

三次元レーザー切断機やレーザープリンター、UVプリンターを導入し、什器、記念盾、ピンバッジ等の質の高い商品開発を着々と進め、イオン株式会社とも植樹用木製プレートの取引を始めていた。

本件については、新たな商品

開発と出口戦略も考察する必要があるため、継続調査とする。



三次元レーザー切断機導入も

## 東日本 大震災対策 特別委員会

# 女川原発住民説明会

令和2年8月19日、南三陸町総合体育館にて、女川原子力発電所2号機の再稼働に関する安全性等について調査をおこなった。

### 調査の目的

南三陸町にとって女川原子力発電所の安全性については、常に注視すべき問題である。県内における原子力災害対策重点区域は7市町、約19万8千人が対象となっている。当町においては一部圏内とはいえ、戸倉全

域及び、林・大久保地区が該当する。

県が主催する、女川原発に関する住民説明会が本町で開催されることから、防護措置区域、UPZ30キロ圏内の安全対策について、調査をおこなった。

### 調査の概要

原子力規制庁によると、福島第一原発事故の反省を踏まえ、従来の基準を大幅に強化した新規制基準を策定し、新基準に基づく女川原発2号機の適合性審査の設置変更許可に関する審査が終了。今後は、設計及び工事計画や保安規定変更認可に関する申請の状況に応じ審査をおこ

なうとのこと。

原子力防災担当（内閣府）からは、原子力防災の取り組みと国の支援体制、宮城県及び関係市町の連携体制、住民への情報伝達、国の実働組織による広域支援体制などの説明を受けた。

資源エネルギー庁は、国のエネルギー政策について、国内のエネルギー情勢や第5次エネルギー基本計画、原子力の更なる安全性の向上をはじめとした取

り組みなどを説明した。

東北電力は、東日本大震災において「従来から実施してきた地震津波への備えにより、安全性の確保が健全に機能した」としながらも、更なる安全性向上への取り組みと、万一の事故に対し、二重三重の対策を講じ、耐震性や電源及び冷却、閉込機能の確保など、2022年の工事完了を目指すとした。

# わたしの意見 あなたの提言

皆さんの考えをお聞かせください。  
投稿お待ちしております!! (400字程度)

「みなさんに支えられた我が人生」



入谷岩沢 小野 豊秀さん

した町の教育施設の整備に関わ  
れた事を誇りに思います。

南三陸町の消防防災への活動  
で、「消防後援会」の存続を訴  
え、消防団活動の充実を図る活  
動を続けてきました。時代の流  
れとともに、横浜でも消防団活  
動において寄付金を募っては  
いけないと、裁判所の判断が大震  
災後にくだされました。私は震  
災後も引き続き、南三陸町には  
後援会が必要と今も思っていま  
す。

私は、行政職員や町議会の議  
員の皆様にも、地区の境界を取  
り除き意見を出し合い、その議  
論をぶつけ合いながら重ね、そ  
の後は互いに手と手を取り、  
南三陸町の将来を本気で考えて  
欲しいと思います。

8月には前町長阿部公三さん  
の訃報に接し、現志津川小・中  
学校の新築にあたり、仙台市の  
学校をPTA役員として共に視  
察した事を思い出します。また、  
ペイサイドアリーナの建築もあ  
り、今回の大震災で多くの町民  
の避難所として活用され、こう

若い頃からの消防団活動で、  
住民を守り、消防団活動の基礎  
を築いてくれた一人と思います。  
町民の一人として行政の在り  
方や、議会議員の活動に助言や  
指摘をいただきました。今後も  
真っ直ぐな目線で御指導下さい。

## 議会から

ライブ映像配信中!

## 南三陸町議会 議会中継



次回の定例会は12月開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染拡大  
防止のため、傍聴の自粛をお願いする場合があります。

議会開会中はパソコン・  
スマホから、リアルタイム  
でご覧になれます。  
配信映像はこちらから↓



## 編集後記

去る10月12日、震災復興  
祈念公園の全体開園式  
が執り行われました。こ  
の祈念公園は、追悼、鎮  
魂の場であるだけでなく、  
震災の記憶と教訓の継承  
もテーマの一つです。忘  
れてはならないことを次  
世代へと「つないで」い  
かなければなりません。  
当日は、復興大臣や県  
知事、そして震災以降ご  
支援をいただいた多くの  
みなさんにお越しいただ  
きました。震災で生まれ  
た新たな「つながり」に  
感謝し、今後も大切に  
していきたいものです。

この日は中橋の開通式  
も兼ねていました。公園  
と商店街を「つなぐ」こ  
の橋のように、過去と未  
来、人と人をつなぎ合  
わせる町にしていきたい  
と思います。

後藤伸太郎  
議会広報特別委員会

- 委員長 後藤伸太郎
- 副委員長 須藤 清孝
- 委員 倉橋 誠司
- 佐藤 雄一
- 千葉 伸孝
- 菅原 辰雄